

令和4年度定時社員総会 国際委員会資料
2021年度活動報告

担当理事：菱木 知郎 副担当理事：康 勝好
委員長：岡本 康裕 副委員長：富澤 大輔
委員：上原 秀一郎、加藤 格、七野 浩之、野上 恵嗣、森 哲也
オブザーバー：高橋 義行

(1) 学術集会日韓ジョイントセッション

- ・2021年度の第63回学術集会における日韓ジョイントセッションのテーマは乳児白血病であった。
日本側の演者として、宮村能子先生（大阪大学）、青木由貴先生(国立がん研究センター中央病院)、韓国からは Dr. Seung Min Han (Yonsei University)、Dr. Jung Yoon Choi (Seoul National University)がそれぞれ選出され、学会3日目の2021年11月27日に開催された。
- ・2022年度の第64回学術集会日韓ジョイントセッションのテーマは、血友病である。日本からは、野上恵嗣先生（奈良県立医科大学小児科）、矢田弘史先生（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター血友病科）が演者として選ばれた。韓国からの演者の推薦を待っているところである。

(2) 韓国小児血液がん学会(KSPHO)からの演者推薦依頼

- ・KSPHOから本学会あてに、2021年10月22日にソウルで開催されるKSPHO学術集会のJSPHO/KSPHO joint symposiumの演者推薦の依頼があった。テーマはBone Marrow Failure Syndromesで、下記2名を本学会として推薦し、講演が行われた。
遺伝性骨髄不全：村松秀城先生（名古屋大学小児科）
後天性骨髄不全：エルトロンボパグ全国調査結果を中心に：江口克秀先生（九州大学小児科）
- ・2021年のKSPHO学術集会のJSPHO/KSPHO joint symposiumのテーマはGerm Cell Tumorである。演者を推薦する予定である。

(3) WHO小児がんProject

WHOが2018年からの取り組みとしてWHO Global Initiative for Childhood Cancerのprojectを立ち上げた。日本小児血液・がん学会（JSPHO）、日本小児がん研究グループ（JCCG）、および国立国際医療センター（NCGM）との連携のもと、2021年1月27日からカンボジアで小児がん診療に従事している嘉数

真理子医師と web を通じて症例検討を継続している。2021 年度は、症例検討を 20 回実施し、合計 70 例について検討した。

(文責：鹿児島大学小児科 岡本康裕)